

43,000件がケーブルテレビ対応でテレビを視聴しているが、現在でも、デジタルチューナーにつなげれば地上デジタル放送の視聴が可能であることを区民に知らせるべきと考えるが、どうか。**答** デジタルチューナーをアナログテレビに接続する方法もご案内しています。電波障害対策としてケーブルテレビを視聴している世帯は、デジタルチューナーの接続だけで、デジタル受信が可能な場合もありますが、工事が必要な場合もあります。そのため、デジタル化へのスムーズな移行のための案内ができるよう、城北ニューメディアに対して要請していきます。**問** 新年度予算で、区役所庁舎などの区有施設が電波障害の原因者となっている共聴施設の調査費が600万円計上されているが、区役所庁舎による電波障害が生じていることは明らかであり、これは税金の無駄遣いである。現時点でも地上デジタル放送が視聴できるよう、施設の改善を図るべきと考えるが、どうか。**答** 区の庁舎などの自主共聴施設をデジタル化対応に改修することは、電波障害の原因者ではなくなった後も維持管理責任を負うなど、問題があることから考えていません。

台東病院について

**問** 台東病院において差額ベッド代が取られるとなると、高額な生命保険にでも加入しない限り、入院できない区民がたくさん出ると思われる。区長が所信表明で述べた「地域の皆様から信頼される病院」となるためにも、台東病院の差額ベッド代の設定を撤回すべきであると考えているが、どうか。**答** 差額ベッド代の設定を撤回することは、患者の選択や近隣病院とのバランス、病院の経営収支の観点などを考慮すると困難です。医学的判断により個室を利用する場合には、差額ベッド代をいただきます。**問** 台東病院のこれまでの経緯を踏まえると、都の支援は当然であると考えている。運営費補助について、都に強く求めるべきと考えるが、区長の決意を伺う。**答** これまでも東京都に要請してきましたが、現在の補助金交付要綱の対象に台東病院を含めることは難しい状況です。介護療養病床の廃止など、病院をとりまく環境が大きく変わってきたことから、運営費の補助について、引き続き都に働きかけていきます。

いぶきの会  
あすま **東** く に こ **久仁子**

水辺とスカイツリーを活かした  
浅草のまちづくり

**問** ①防災船着場建設の検討にあわせ、浅草3駅の結節機能の向上や、水陸交通ターミナル化などの事業に取り組んではいかがでしょうか。②東武浅草駅の建替えや橋上化についての東武鉄道との話し合いはどのような状況か。③隅田公園の整備は、具体的にどのように取り組んでいくのか。④浅草のまちづくりはスピードを加速させる必要があるが、どのような計画を考えているのか。**答** ①鉄道交通と水上交通の連絡を良くしていくこ

とが大切と考えます。水上バス乗り場の建て替えと併せ、より一層、観光客の利便性向上に努めます。②東武浅草駅は東京スカイツリー開業時には、大きな交通手段になると考え、東武鉄道とバリアフリー化などについて協議を行っていきます。③広場やビューポイントの整備など、眺望と景観に配慮しながら、具体的な計画を検討します。④交通システムの検討や、水辺の散策ルート整備など、東京スカイツリーの開業に向け、浅草のまちづくりに全力をあげます。

不妊治療に対する台東区独自の助成

**問** 東京都が「特定不妊治療費助成制度」を実施しているが、「子育てするなら台東区」を掲げる本区としては、さらに支援を充実させるため、本区独自の不妊治療助成を行い、子どもを産んでもらうための支援も行ってはどうか。**答** 東京都の助成制度実施状況や、他区で行っている助成制度の状況を踏まえ、引き続き検討していきます。

台東区議会自由民主党  
たか もり き み こ **高 森 喜美子**

教育について

**問** 施設改修工事費などを除いた、生徒1人当たりの年間学校運営経費や図書費等は、他区に比べてどのようなレベルにあると認識しているのか。新年度予算編成に当たり、教育予算の割合と、今後の教育費に対する区長の所見を伺う。**答** 予算全体に占める教育費の割合は、21年度は教育施設建設費等により17%となり、20年度の9%に比べ大きく増加しています。建設費等を除いた生徒1人当たりの年間学校運営経費を調査可能な20区の19年度決算と比較すると、小学校費が4位、中学校費が5位となり、上位であると考えます。図書は図書標準を基準にすると、さらなる整備が必要であり、18年度から図書購入費を毎年度充実し、21年度予算も充実を図っています。今後とも、「子供が自らたくましく生きられる教育の推進」の具現化に向け、予算を編成します。**問** ①幼児教育についての研究会を設け、公私の区別なく教育実践に役立つ研究成果を共有し、情報提供し、教員の研修になるよう支援してはどうか。②音感教育、食育などの専門教員を派遣してはどうか。③幼・小連携について、どのような取り組みを行うのか。④幼児教育全体について、どのように取り組もうとしている

のか。**答** ①幼児教育に関する研修を充実し、教諭や保育士の資質や指導力の向上に努めます。②より専門的な指導が幼児の実態に応じて取り入れられるよう、議員のご提案も含め、さらに検討します。③学校・園に具体的な取り組み事例を示し、各学校・保育園・幼稚園が地域や子どもの実態に即した課題を設定し、計画的に取り組んでいくよう指導します。④公私立幼稚園・保育園の代表を含めた「幼稚園・保育園・こども園連絡協議会」を立ち上げ、幼児教育全体のあり方について具体的に検討し、充実に努めます。

既存施設のリニューアルについて

**問** 「区有施設の現況報告」によると、建築後20年以上経過している施設が全体の60%にのぼっている。利用率も勘案し、統合も含めた区有施設のあり方の方向性を示してほしいと考えるが、どうか。30年以上経過している施設は、全面リニューアルの必要があると考えるが、基本的な考えを伺う。また、池之端児童館のリニューアルをはじめ、「子育てするなら台東区」にふさわしい施設のあり方についての考え方を伺う。**答** 「区有施設の現況報告」をもとに、区有施設全体の計画的な保全について、さらに必要な分析と検討を行います。その際には、設置目的や利用実態など、施設のあり方に関する視点を持って実施します。この検討の中で、議員ご指摘の施設を含め、区有施設全体の保全に関する方針や基準等について示したいと考えます。

台東区議会区民クラブ  
なる さわ たかし **成 澤 敬**

区営のライブハウスと稽古場設立について

**問** 芸能のまち台東区として、芸能文化の保存・育成と、年間を通じての集客が見込め、地域の活性化にも有効な、小劇場・ライブハウス・稽古場を、区営で設立することを提案するが、区長の所見を伺う。**答** 本区では、平成17年度よりTokyoダウタウンアートサポートを設立し、フィルム・コミッション事業だけでなく、芸術、演劇、芸能分野における発表舞台や稽古場等の支援を行う、ステージ・コミッション事業を行っています。しかしながら、稽古場やリハーサル会場として提供している区有施設は、連続使用が困難であり、設備も不十分なため、現在、専用の稽古場等として、旧東京北部小包集中局跡地の活用も視野に検討しています。議員ご提案のライブハウスについては、今後、様々な視点から研究したいと考えます。

中学生議会・委員会の開催について

**問** 現在、青少年委員協議会の主催により、中学生サミットを年1回開催し、交流を図っている。中学生の区政への関心を高め、ディベート能力やプレゼンテーション能力を向上させるためにも、中学生サミットを、実際に議場や会議室を用いて、様々な区政の課題をテーマに議論する、中学生議会・委員会へと発展させるべきと考えるが、教育長の所見を伺う。**答** 現在の中学生サミットは、教育委員会が委嘱している青少年委員の協議会が主体となって企画し、実施している事業です。各中学校の生徒会役員が参加し、主に学校生活の中で取り組んでいることを中心的なテーマとして、毎年意見交換を行っています。生徒にとっては普段知ることの出来ない、他の学校の現状や取り組みについて意見を交わすことができる貴重な場になっていると認識しています。議員ご提案の、学校の外に目を向け、区政についてお互いに議論を交わすことも、中学生にとっては意義のあることだと思いますので、ご提案の趣旨を青少年委員協議会にもお伝えし、検討したいと考えます。